

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田看護福祉大学
科目名 (サブタイトル)	[55] 医療と福祉の探究	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	看護福祉学部 医療福祉学科 准教授 石岡和志 (計4名)
授業概要	高齢者や障害者が住みなれた地域で普通に暮らすために、医療と福祉の連携・充実の重要性が増しています。本授業では、現代社会が抱える課題を医療や福祉の視点から考え、その実践を学ぶとともに、医療や福祉の魅力について考え知る機会とします。		
授業方針	医療や相談援助の現場での実践的な課題を提示し、授業参加者とともにその解決について考えていきます。積極的な参加を期待します。		
会場・教室	秋田看護福祉大学 中教場		
会場住所	大館市清水2丁目3-4		
欠席連絡先	秋田看護福祉大学 教務課 (平日8:30~17:10) 電話: 0186-45-1721 E-mail: conso@well.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：40名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「いのち・こころ」を考える ～東日本大震災の事例を踏まえて～ 准教授 阿部 俊彦 <u><7月15日 (土) 12:00~13:30></u> 近年、豪雨やそれに伴う洪水、地震などの災害が発生し、人々の生活に大きな影響を及ぼしています。本講義は、東日本大震災に光を当て、災害によって生じる人々の「生命 (いのち) と心 (こころ)」のあり様を問い直し、人々の生活とは何か、支援とは何か、を皆さんとともに検討していきます。</p> <p>第2講：「地域に暮らす障害者の理解」 助教 高橋 俊文 <u><7月15日 (土) 13:45~15:15></u> 地域には、さまざまな障害をお持ちの方が暮らしています。一般的に”障害者”と一括りで呼ばれていますが、そのタイプ、特徴は個々で異なります。今回の講義では、障害をお持ちの方の基本的な理解を目的に学んでいきましょう。</p> <p>第3講：「コミュニケーション障害のある方への対応」 准教授 石岡 和志 <u><8月19日 (土) 12:00~13:30></u> 視覚障害、聴覚障害、知的障害等、コミュニケーションが取りにくい障害を抱える方は少なくありません。そのような方に対するさまざまなコミュニケーション方法を学びます。</p> <p>第4講：「医療的ケアとは ～福祉職が医療行為を行うために必要なことを考える～」 准教授 今野 修 <u><8月19日 (土) 13:45~15:15></u> 介護福祉士が医療行為を行えるようになった制度の変遷と、本学で行っている医療的ケア教育を解説します。また、介護福祉士が安全に医療的ケアを実施していく為の手順を確認し、実際にシミュレータを使って喀痰吸引等を体験してみます。さらに、他の医療職との連携方法についても解説します。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			